

学校教育目標 「心豊かな生徒」「自ら学ぶ生徒」「心身ともにたくましい生徒」

校 訓 「自主・責任・規律・親和」 R7. 6. 23発行 文責 校長 本多 博

令和7年度「南部っ子の心を見つめる教育週間」が始まりました。 6月23日(月)～6月27日(金)

6月23日から「南部っ子の心を見つめる教育週間」が始まりました。この1週間は、子供達に「命」や「人を思いやる」ことの大切さについて普段以上に考えてもらうため、全校集会や授業の中で命に関する話や取組を行います。

さて、今日の全校集会では「命」と「人を思いやること」について私から話をしました。その中で、全ての命には物語があり「命」を自分に引き寄せて考える事、人を思いやるとは、周りの人に関心をもって知ろうとし、弱さやしんどさに寄り添う事だと伝えました。そして最後に、自分や周りの人の未来を信じ、将来を大切にしてほしいというメッセージを伝えました。

保護者の皆様におかれましても、この教育週間期間中、ご家庭でお子様と話をする時間を普段以上にもっていただければと思っています。

【教育週間が行われる背景】

今から22年前に長崎市で中学生による幼児殺害事件がありました。そして、その翌年には大久保小学校事件が起こります。二度と同じような過ちを起こさせないため、県内全ての小・中学校で教育週間を位置づけて、「命」と「人を思いやること」の大切さを考える期間としました。

【目 的】

◎ いのちを輝かせて生きる、心豊かな南部っ子の育成を図る。

- 命を大切にする心や思いやりの心の育成
- あこがれや将来への志の育成
- あいさつやマナーの向上

【重点目標】

学校、家庭、地域住民が連携して、生徒が「いのちを輝かせて生きようとする心情」を育むとともに、情報モラルについての理解を深める。

7月・11月は「ココロねっこ運動」強調月間です

ココロねっこ運動は、子どもの心の根っこを育てるために、大人のあり方を見直し、みんなで子どもを育てる県民運動です。
～大人みんなで子どもの心を育てましょう! 「あいさつします。わたしから!」～



【教育週間の取組について】

今週は全ての教育活動を公開しています。いつでもお越しください。

また、6月26日は、5校時にメディアに関する道徳の授業とルールづくりを行います。その後、学級懇談会を予定しています。

保護者の皆様の参加をお待ちしています。

7月・11月は「ココロねっこ運動」強調月間です



親の責任で携帯電話を持たせるときは、子どもたちを守るためにフィルタリングを必ずしましょう。

○就寝2時間前にスマホ、タブレット等の電子映像画面から離れることが睡眠、脳科学、依存症の研究者等から推奨されています。

